

令和4年8月19日
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所

JRR-3の運転再開について（お知らせ）

原子力科学研究所の研究用原子炉 JRR-3 は、令和4年7月26日午前11時15分に原子炉が自動停止（安全保護系 A 系「一次冷却材流量低」信号の発生）しました。

自動停止した原因を調査した結果、機器の故障ではなく、何らかの外乱の影響により一過性の誤信号が発生したことによるものと判断しました。原子炉施設に故障はなく、正常な状態を維持しています。なお、本事象は、法令に基づく報告事象には該当しません。

今後の運転における外乱（ノイズ^{※1}）の発生を低減するため、以下の対策を講じることとしました。

- ① 原子炉運転中のノイズ発生原因となりうる機器の使用禁止
- ② 動力機器の設置、更新時の接地等ノイズ低減対策
- ③ 点検校正におけるケーブル類の点検、電気工作物点検における接地線及び接地極の点検

これをもって、令和4年8月22日より JRR-3 の運転を再開します。

※1：落雷、空中放電、宇宙線及び電子機器等が発生源となり起こり得る現象